

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

○2009年度からの目標

1. 学生の履修ニーズに対応した開講科目の見直しを行う。
2. マルチメディアを活用した授業形態を2013年度までに3割に拡大する。
3. オムニバス方式の授業形態をさらに工夫する。
4. 学生による授業評価制度を活用し、授業内容、運営方法等の改善を進める。
5. 研究活動への学生の主体的参加を促すため、言語コミュニケーション文化学会の活動を強化する。

○指標

1. 履修者数一覧。
2. マルチメディア利用の科目数。
3. オムニバス形式科目に関するFDワークショップの開催。
4. 学習効果測定指標の開発、実施。
5. 学会での研究発表数。教員・学生の参加者数。学会の講演会、教員を主体とするシンポジウムの公開。